中１理科　大地の成り立ちと変化

地震の伝わり方と地球内部の働き(2)

名前

【１】次の文章は、地震の起こるしくみについて説明したものである。
（　　）に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

（１）地震によって大地がもち上がることを（①　隆起　）といい、沈むことを（②　沈降　）という。

（２）地震が海底で起こった場合、海岸で（③　津波　）という災害が発生することがある。

（３）海底で溝のように深くなったところを、（④　海溝　）という。

（４）日本列島と太平洋側にある海溝の間には、震源が（⑤　少ない　・　集中している　）。

（５）日本付近の震源の深さは、太平洋側で（⑥　浅　・　深　）く、日本列島の下に向かって（⑦　浅　・　深　）くなっている。
このほか、日本列島の地下では震源の浅い地震も起こっている。

【２】次の文章は、プレート内地震のしくみについて説明したものである。
（　　）に当てはまる言葉を書きなさい。

（１）地球の表面は、（①　プレート　）とよばれる十数枚の、厚さ約100kmの岩盤でおおわれている。

（２）日本列島付近には（②　4　）枚のプレートが集まっている。

（３）それぞれのプレートは、たがいに、決まった方向に少しずつ動いているため、プレートの境い目周辺には常に力が加わり続け、岩盤は徐々に変形して（③　ひずみ　）がたまる。

（４）岩盤の強さが（③）に耐えられなくなると、破壊されて（④　断層　）が生じると同時に、地震が起こる。

（５）プレート内の地下の浅いところで大地震が起こると、地表には断層がその傷あととして残ることがある。この断層のうち、特に数十万年前以降に繰り返し活動し、将来も活動すると考えられる断層のことを（⑤　活断層　）とよぶ。

【３】次の文章は、プレート境界型地震のしくみについて説明したものである。
（　　）に当てはまる言葉を書きなさい。

（１）日本列島の下では、太平洋のほうから動いてきた（①　海洋　）プレートが、（②　大陸　）プレートの下にもぐりこむ。

（２）（１）により、（③　大陸　）プレートが（④　海洋　）プレートに引きずりこまれ、（⑤　大陸　）プレートがひずむ。

（３）（２）のひずみにプレートが耐えられなくなると、（⑥　大陸　）プレートの先端部が元にもどろうとして急激に（⑦　隆起　）し、プレートの境界を震源とする大きな地震が起こる。

このプリントはウェブサイトで無料ダウンロードできます。© 無料学習プリント【ちびむすドリル】http://happylilac.net/syogaku.html